



若竹だよい



- 【私たちの願い】 ①よろこんで与える人間となろう ②いのちを大切にできる人間となろう
③こころ静かに考える人間となろう ④使命に生きる人間となろう ⑤規律ある幸せ喜ぶ人間となろう

法人の社会貢献事業 ①四国八十八ヵ所巡礼者無料宿泊&お接待 ②講演会・シンポジウム等

【巻頭言】



分校名称決定

園長 宮竹 恒

令和5年がスタートし、いよいよ分校建築工事也大詰めを迎えております。

これまで、高松市立下笠居小学校若竹学級／高松市立下笠居中学校青峰学級として子どもたちは学習に励んできました。この度、分校新設にあたり高松市が名称を決定いたしました。

名称は「高松市立下笠居小学校五色台分校／高松市立下笠居中学校五色台分校」となります。

自然豊かな瀬戸内海国立公園五色台に立地している学園にとって「五色台分校」という名称は大変親しみがあります。

五色台の大自然の中で子どもたちは心身ともに成長しています。分級においては、「五色台子どもおもてなし處」でのへんろ小屋活動、散策等を行ってきました。

温故知新の精神に則り、伝統を大切にしつつ、新しく「五色台分校」として令和5年4月開校の準備を進めてまいります。一了一

分校建設状況

着物でご挨拶

日本舞踊の先生に教えて頂き、着物の着付けを行いました。

今回は、男子の希望者も参加しました。多少照れくささもあつたようですが、「楽しかった！」と感想を話していました。

女子は、着付けが終わると学園玄関でお披露目をしました。満面の笑みと嬉しそうな声で一足早い春が訪れたようでした。



令和5年1月1日の 学園の様子

第1弾

白峰寺に初詣にいきました。
高校受験を控えた3人の受験生は、長い
時間手を合わせていました。



おみくじを引
き職員と一緒
に読みながら
解説をしても
らっていました。
凶がでた
子どもは、自
分の1年間の
教訓にすると
言い持ち帰っ
ていました。



参拝の後は、お年玉で屋台のたい焼き・
たこ焼き・リンゴ飴・ベビーカステラ等を
購入して食べました。

昨年リンゴ飴を落として食べられな
かった子どもは、再チャレンジだと言
い、真先に購入していました。今年
は、お店側も落ちないように工夫
してくれていました。満足そうに
無事チャレンジ成功したことを報
告しにきました。



第2弾

初詣から帰ってきたら、全
員でトランプ・ボードゲー
ムをしました。職員・子
ども全員で1つのゲームを
することは、初体験です。負
けたチームの男性職員は、
女子からメイクをされました。
とても今以上にイケメン?
になっていました。
職員も子どもも全員が笑顔
で、お正月の天気と同様に
暖かな気持ちの良い時間を
過ごせました。



第3弾



昼食は、手巻き寿司でした。
これもまた、なかなかお目
にできないメニューです。自
分の好きな物を好きなよう
に組み合わせオリジナルな手
巻きを大きな口でほお張っ
ていました。

第4弾

子どもからの希望があった
ドンキホーテに、お買い物に
いきました。コロナ対策を万
全にし、なるべく空いている
時間を選んだので駐車場も
空いていました。
子どもたちは、低価格商品が
沢山あり「情報量が多すぎて
頭がいたい。」と嬉しさを
表現していました。



青峰・若竹学級だよ

始業式

令和4年度3学期始業式を行いました。下笠居中学校の高町校長先生からは、「ピンチはチャンス。苦しい状況でもこの経験を糧に次のステップに進んでいこう。」というお話を、宮竹園長先生からは、「苦手なことでもこつこつ努力をしていこう。」というお話をいただきました。



冬休み明けテスト

17日に、中学1・2年生は冬休み明けテストを行いました。内容は主にそれぞれの学年の復習や冬休みの宿題から出題しました。2月の診断テストに向けて自分の苦手な範囲を確認する事ができました。



私立高校の入試

中学3年生は私立高校の入試がスタートしています。それぞれの志望校の合格に向けて自分の実力をしっかり発揮してくれたようです。3月の公立高校の入試に向けて引き続き頑張っています。

書き初め

始業式の後には小中学生全員で書き初めを行いました。自分でお題を選び、中には「花鳥風月」というあえて難しいお題に挑戦した子もいました。文字のバランスや大きさに気を付けながら集中して書くことができました。筆の扱いに苦労しつつも真剣に取り組み、5枚の中から最高の1枚を選びました。また、片付けまで丁寧に行うことができました。



体カテスト

20日には亀水の体育館で本年度2回目のスポーツテストを実施しました。それぞれが前回の記録を上回るために真剣に取り組んでいました。スポーツテスト後はバスケットボールやバドミントンを楽しみました。



おもちつき



年末に餅つきをしました。鏡餅・餡入り・餡なしを作りました。子どもたちの1番目のミッションは、『香川県特性の餡入りもちの餡を作る。』『かがみ餅の、ウラジロも取りに行く。』『臼を温める』です。3チームに分かれ準備をしました。2番目のミッションは、『餅をつき、餅を丸める』ことです。昔から餅をつくのは男性で丸めるのが女性と言いますが、学園では、男女関係なく自分のやりたい作業に全員で取り組みました。

最初はついた時に上手く「パンッ」と音が出ず、どうやったら綺麗な音が出るのか職員がしているのを観察し、何回もトライする内に、良い音が学園中に鳴り響くようになりました。周りからは「よいしょ」と声が上がっていきました。自分の年齢分だけつく子もいました。餅を丸めるのも同じで始めは上手くできなかった子どもも最後は、上手に丸めていました。



3番目のミッションは、昼食に、つきたてのお餅で作ったお雑煮のオーダーを自分ですることです。餡入りか餡なしか、また白みそ

かおすましか、1個か2個か自分で選んだお雑煮を美味しく食べていました。何度もおかわりに来る子もいました。鏡餅にしたお餅は年明けの9日に鏡開きをし、お汁粉にして食べました。

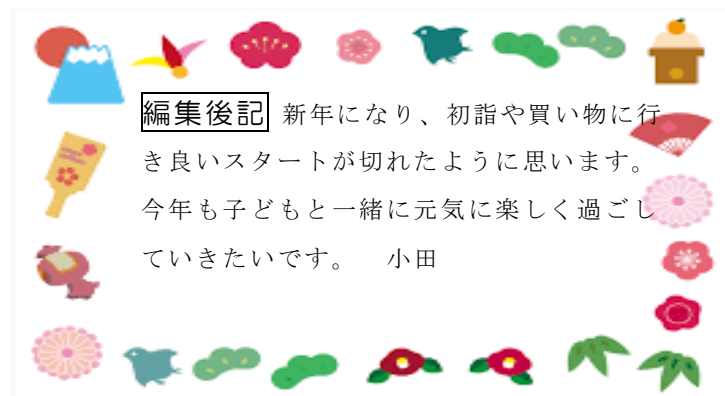
1月行事

1日	初詣
14日	図書館
20日	買物外出
30日	誕生日ケーキづくり

在籍人数

令和5年1月1日現在

区分	県内(人)	県外(人)	合計(人)
小学生	2	0	2
中学生	7	1	8
合計	9	1	10



編集後記 新年になり、初詣や買い物に行き良いスタートが切れたように思います。今年も子どもと一緒に元気に楽しく過ごしていきたいです。 小田

第436発行

〒761-8004 香川県高松市中山町 1501-192

TEL 087-882-1000 FAX 087-882-1160

ホームページ <http://4on.or.jp>

Eメール wakatake@4on.or.jp

編集兼発行者 若竹学園 編集委員

発行責任者 宮竹 恒

